

# サタデープログラムニュース

講座番号 11 番 第三部(14:00～15:30)

## 一緒に考えよう、ナゴヤの魅力を！

～行きたい街 No.1 を目指して～

梅本まどかさん (24歳)

2010年、SKE48に4期生として加入。チームEのリーダーやシングル曲選抜入りを経験するなど、6年間の活動を経て、昨年春にグループを卒業。その後は、タレントとして名古屋を中心に活動している。昨年12月に名古屋観光文化交流特命大使に任命された。特技はチアリーディング、趣味はモータースポーツ観戦など。



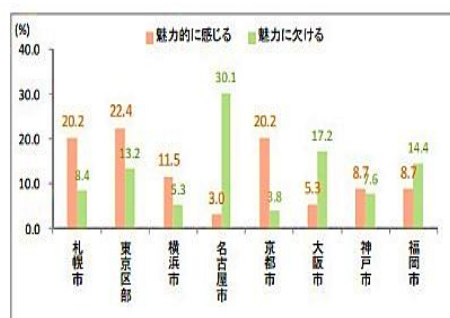
田頭 泰樹さん(58歳)

名古屋市観光文化交流局ナゴヤ魅力向上室長。2015年3月まで中京テレビに勤務。報道記者、番組プロデューサーなどを担当。現在は「ナゴヤ魅力向上室長」として、名古屋のシティープロモーションに携わっている。



### 1. 名古屋は本当に「最も魅力に欠ける街・名古屋」?

昨年6月に、名古屋市は札幌、東京(23区)、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、福岡の8都市に住む人を対象に実施したインターネット調査を実施しました。その中で「最も魅力的に感じる都市」はどれかを尋ねた質問で、名古屋は8都市中最下位という結果に。1位の東京と比べると7分の1以下です。さらに、「最も魅力に欠ける街」を尋ねた質問ではワースト2位の大阪を大きく引き離してのワースト1位となりました。



今回の調査で浮き彫りになったのが、名古屋市民が地元の魅力を認知していないということ。他の7都市の市民は自分が住んでいる街を最も魅力的に感じると回答した人が最多だったのに対して、名古屋市民は名古屋よりも東京や京都の方を最も魅力的だと答えた人が多かったのです。市民が自分の街に魅力を感じていないという現状が、この結果を生んだと言うこともできるでしょう。

しかし、本当に名古屋には魅力がないのでしょうか。講師の2人は決してそんなことはないと言

い、私(筆者)自身もそう思っています。

## 2. 名古屋市の観光客数を、京都と比べてみると…!?

先日、田頭さんと話をさせていただいた中で、私が初めて知った事実があります。今回の調査で、名古屋とは対照的に「魅力を感じる街」2位、「訪れたい街」1位になった京都。世界遺産の史跡が数多く存在することもあり、多くの観光客で賑わっているイメージがあります。

では名古屋と京都の観光客数を比べてみると…。京都市は5,684万人、一方の名古屋市は4,331万人。なんと！名古屋には京都の76%の人が観光に訪れているのです。意外に多いと思いませんか。

私たちは歴史的建造物を見る、テーマパークに行く、といったようなことだけを観光だと考えがちです。しかし、名古屋市外に住む人が「ナゴヤドームでドラゴンズの試合を見る」、「栄の地下街でショッピングをする」、これらも立派な観光なのです。ドーム球場や地下街などがあることによって、「都市型観光」が名古屋では成り立つという訳です。名古屋市の観光客数が多い理由の1つには、こういったことが関係しているのです。そして、これらも名古屋が持つ魅力なのです。

## 3. 梅本さんにとっての名古屋

「戦国武将が生んだ歴史、なごやめしなどの食べ物、動物園や科学館といった観光スポット、その全てが名古屋には集まっています」梅本まどかさんはそう話します。住みやすくて、この街からは出たくないのだとか。梅本さんは昨年末に、名古屋市から**名古屋観光文化交流特命大使**に任命されました(他に矢野きよみさん(書道家)、クリス・グレンさん(ラジオDJ)ら8人)。そのことに対して、「任命されたことで、自分をもっと魅力を発信していかなければいけないという気持ちになりました。この活動を通して“名古屋は楽しくて、素敵な場所なんだ”と多くの人に思ってもらいたいです」と梅本さんは語っています。

## 4. これからのナゴヤ

今年の春、金城ふ頭に開業するレゴランドは、新たな名古屋の観光名所として今から注目を集めています。また、名駅に完成したJRゲートタワーやJPタワーも春にグランドオープンするなど、10年後のリニア開業に向けて名古屋が変わろうとしています。

当日は、そんな名古屋の街について「名古屋

観光文化交流特命大使」と「ナゴヤ魅力向上室長」という異なる立場で魅力発信に取り組む2人と一緒に考えましょう。

あなたの知らない名古屋の魅力がわかるかも!?

皆さんの来場をお待ちしています!!



担当：H 1 D 日比野(文責)、J 1 D 杵本、J 1 J 関